

ソラマメ (マメ科)

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
			収穫				タネまき				

ソラマメの名は、空に向かってさやがつくところからついたと言います。家庭菜園でとれたソラマメは、新鮮なだけに味がよく、ピールのさかなには格別です。

品種

〔大粒種〕 仁徳一寸、陵西一寸

〔中粒種〕 早生そらまめ、さぬき長さや早生

栽培ポイント

マメ科の野菜ですから連作できません。4～5年の輪作をしなければなりません。

早まきすると生育が進みすぎて寒害を受け、おそまきすると発芽に日数がかかり、伸長が悪く、収量が上がりません。タネまき時期はその地方の初霜の10日ぐらい前が標準です。平坦地では10月中旬、山間地では10月下旬が適期とされています。ソラマメは、深い土壌や粘土質の土が向き、砂地や火山灰土には適しません。

ソラマメは、じかまきするとタネが腐ったり、発芽が不ぞろいになりますので、苗を育てて植えつけましょう。タネまきは、鉢か箱に川砂など肥料けのない排水のよい土を入れ、おはぐろを斜め下にしてタネをさし込めばよく、そのあと水やりして、新聞紙かぬれムシロでおおっておきます。

7～8日で発芽を始めますから、おおいをとり、苗を本葉2～3枚に育てて畑に植えつけます。植えつけ後は、土寄せのたびに土を寄せて畝を高くしていきます。追肥、土寄せは11月、1月、3月にしますが、3月の土寄せは、採光がよくなるように株の茂みのなかに土を入れ、茎を広げます。

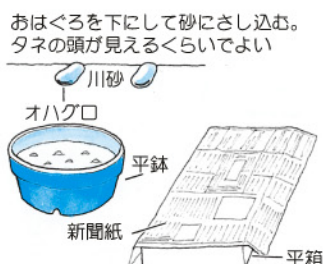
12月中旬に防寒のため株元に堆肥、もみガラ、サツマイモのつるの切ったものなどを敷きます。

栄養

タンパク質に富み、ビタミンB、Cも割合多く含んでいます。

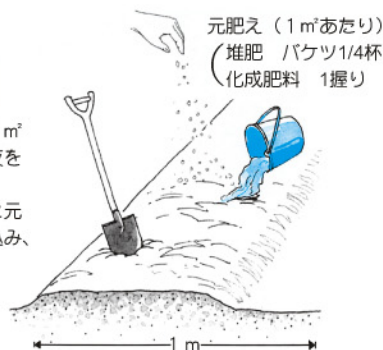
1 タネまき・育苗

タネまきは10月中～下旬。発芽を確実にするために、タネは平鉢か平箱に川砂などを入れてまく。タネまき後、水やりして新聞紙をかけておく。7～8日で発芽し始めたら新聞紙はとり除く。



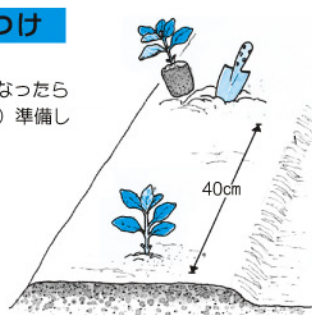
2 畑の準備

畑にはあらかじめ、1㎡あたり1握りの苦土石灰をまいて耕しておく。植えつけの1週間前に元肥をまいて土にすき込み、1m幅の畝を作る。



3 苗の植えつけ

苗が本葉2～3枚になったら(タネまき後15日前後)準備した畝に植えつける。



4 追肥・敷きわら

11月下旬と1月に追肥を施し、同時に軽く土寄せも行う。12月上～中旬に株元に敷きわらをして防寒する。

1回目の追肥

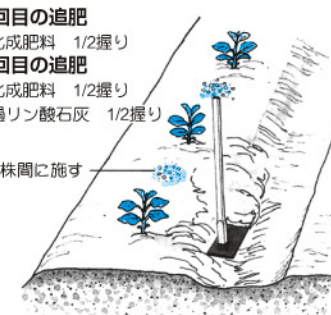
化成肥料 1/2握り

2回目の追肥

化成肥料 1/2握り

過リン酸石灰 1/2握り

追肥は株間に施す



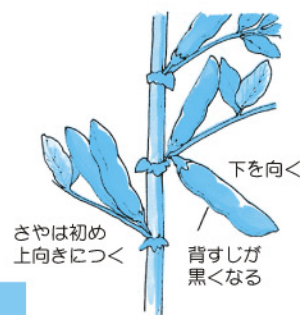
5 3回目の追肥・土寄せ

最後の追肥、土寄せの際は、畝間の土を掘り上げて、株の中にも土を5～6cmかけて茎を広げ、株内の採光をよくしてやる。



6 収穫

実が充実してくると、外から実の形のふくらみが分かるようになる。収穫適期になると、さやは光沢ができ、背すじが黒くなり、下を向くようになる。



主な病害虫

- ◆病気 ウイルス病、輪紋病、褐斑病
- ◆害虫 アブラムシ